

十和田湖冬物語

2.2FRI-2.25SUN ※火・水はお休み

会場：十和田湖畔休屋多目的広場 時間：平日15:00～20:00、土日祝11:00～20:00

2月3日(土)18:00～
オープニングセレモニー!

FIREWORKS

花火

気持ちを温かくしてくれる真冬の花火鑑賞
全日19:30～

- ・ 冬花火
- ・ メッセージ花火 7000円/発～
(大切な人への日頃の感謝など、
メッセージを花火にのせて打ち上げます)



メッセージ花火
申し込み方法
(※切:
前日17:00)



・ 晴山獅子舞<青森>
2月2日(金)19:00～

・ 沢田鶏舞<青森>
2月4日(日)16:00～

・ ねぶた囃子<青森>
2月10日(土)16:00～、19:00～
2月11日(日)15:00～

・ 花巻鹿踊<岩手>
2月17日(土)16:00～、19:00～
2月18日(日)15:00～

・ なまはげ太鼓<秋田>
2月24日(土)16:00～、19:00～
2月25日(日)15:00～
and more...

TRADITIONAL ARTS

冬の国境祭り

十和田湖に北東北の
祭りが集結する贅沢な夜



週末限定

FOOD MARKET

雪灯り横丁

地元食材でローカルの味を楽しもう!
平日16:00～20:00/土日祝11:00～20:00

- ・ 三沢名物バイカ鍋<こなもんや>
- ・ ガーリックポークの豚汁<和の店>
- ・ ガーリックポークの味噌ラーメン<お食事の店もりた>
- ・ 自家製ケバブ<湖白家>
- ・ 十和田名物バラ焼き<信州屋>
- ・ 青森県産りんごピザ<いっぶく>

※メニューは一例です



SNOW PARK

雪遊び

ソリやボートを使って雪ともっと仲良くなろう!
平日16:00～20:00/土日祝11:00～20:00

- ・ すべり台(そり、チューブ100円)
- ・ バナナボート(500円)



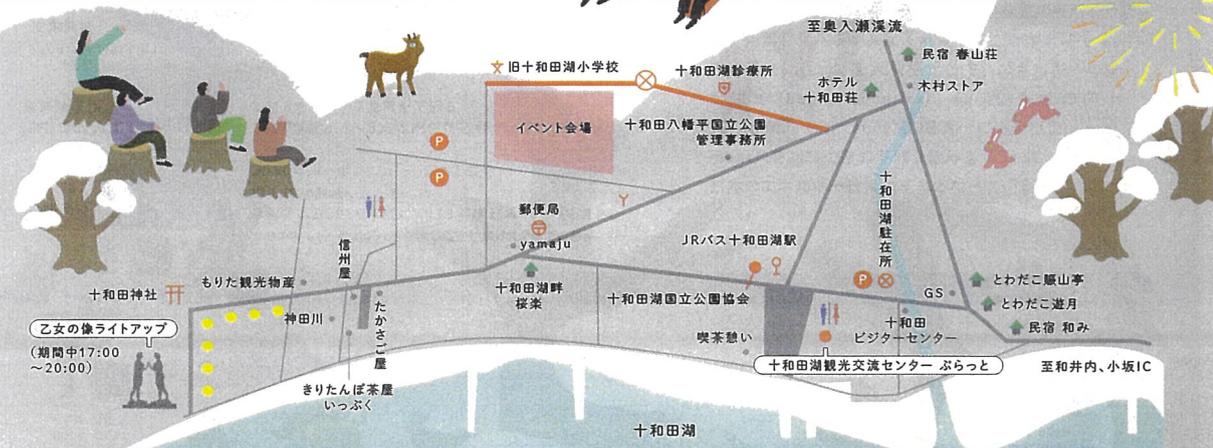
ACCESS

JR八戸駅からバス「冬のおいらせ号」で
約2時間35分
十和田市から「十和田湖アクセスバス」で
約1時間30分

主催：十和田湖冬物語実行委員会
(事務局：一般社団法人十和田奥入瀬観光機構)

後援：環境省十和田八幡平国立公園管理事務所
青森県 秋田市 鹿角市 小坂町 十和田市
教育委員会 鹿角市教育委員会 小坂町教育委員会
公益社団法人青森県観光国際交流機構
十和田商工会議所 かつの商工会 十和田市
建設業協会 NHK青森放送局 RAB青森放送
ATV青森テレビ ABA青森朝日テレビ ABS秋
田放送 AKT秋田テレビ AAB秋田朝日放送
朝日新聞青森支局 読売新聞青森支局 産経新聞
社青森支局 毎日新聞社青森支局 河北新報社
東奥日報社 デーリー東北新聞社 陸奥新報社
秋田魁新報社 北羽新報社 北鹿新聞社 エフエ
ム青森 コミュニティラジオBeFM

協賛：ホテル十和田荘 青森花火株式会社 一般社団法人十和田奥入瀬観光機構 きりたんぼ茶屋いっぶく 十和田市商工会議所 とわだこ蔵山亭 一般財団法人十和田湖ふるさと活性化公社 株式会社石川設計 株式会社新山運送 株式会社コンプ
オーティア 株式会社ミツバ資源 十和田市金融団 上北産業加工株式会社 田中建設株式会社 有限会社アート印刷 株式会社A-WORLD 上北建設株式会社 株式会社中道組 紺野建設株式会社 十武建設株式会社 青森電気工業株式会社 株
式会社金竹成家 株式会社十和田ビルサービス 青森タクシー十和田営業所 大久保印刷有限公司 オルトラナー とわだこ遊月 十和田湖畔 桜家 合同会社十和田湖ガイドハウス 合同会社ネイチャーセンス研究所 十和田湖の案内人〜遊部屋
十和田 有限会社村中水道設備 十和田湖自然ガイドクラブ (2024年1月時点)



えねるぎークイズの答え →

③ Safety(安全性)

S+3E

Safety
安全性

安全性が大前提

安定供給
Energy Security(自給率)

経済効率性
Economic Efficiency(電力コスト)

環境適合
Environment(温室効果ガス排出量)

東日本大震災前(約20%)を更に上回る
30%程度を2030年度に見込む
(2021年度13.3%)

2013年度の9.7兆円を下回る
2030年度8.6～8.8兆円を見込む

2050年カーボンニュートラルと整合的で
野心的な削減
目標である2030年度に2013年度比▲46%※を見込む
※非エネルギー起源CO2等を含む温室効果ガス全体の削減目標

火力発電、再生エネルギー、原子力発電等には、それぞれ
長所と短所があります。そのため、各発電の長所をう
まく活用し、バランスよく利用することが大切です。
安全性(Safety)を大前提として、エネルギーの安
定供給(Energy Security)、経済効率性の向上
(Economic Efficiency)、環境への適合(Environ-
ment)を同時に進める取り組みを「S+3E」と呼び、
日本のエネルギー政策の基本となっています。